

2024 学校経営ビジョン-2

「教育目標」と「令和6年度重点努力目標」に向けて

教育目標：学びをつなぐ・友達とつながる・社会につなげる

重点努力目標：①「分かった」「楽しい」授業②心の教育の充実／／③健康な体づくりと食育の充実

④志教育の推進／⑤積極的な生徒指導／⑥専門的な資質・能力の向上

⑦学校安全の推進／⑧組織的・有機的な学校運営体制の構築／⑨特色ある学校づくり，開かれた学校づくり

豊かな人間性(優しい子)

- ・三つの心(うそをつかない，進んで働く，いじわるをしない)を大切に望ましい生き方をしようとする。
- ・互いのよさや個性を認め合うことができる。
- ・一人一人が夢や希望を持てる。
- ・学級，学年，家庭や地域の中で，積極的に役割を果

学びに向かう力、人間性など

三つの柱

思考力、判断力、表現力など

知識及び技能

健康・体力(たくましい子)

- ・意欲的に運動に取り組み，丈夫な体をつくる。
- ・食に関する正しい知識と望ましい食習慣を身に付けている。
- ・自分の体は自分で守る。

資質・能力の育成(考える子)

何ができるようになるか

- ・疑問を持ち主体的に考え，行動する。
- ・自分の考えを伝え，友達の考えに耳を傾け，よりよいものを作り出す。
- ・学習したことや体験したことを生かす。



何が身に付いたか

- ・予想しなかった場面に出会ったときに，場面を把握し進んで解決しようとしている。
- ・友達と話し合い，自分の考えを再構成している。
- ・伝える相手や状況に応じた，方法や言葉などを選択し発信している。



子供の発達をどのように支援するか

児童の実態

- 明るく伸び伸びしている。
- 活動に一生懸命取り組む。
- 思いやりの心は育ってきている。
- △発表には消極的である
- △主体性に乏しい。

- ・働き方改革やワークライフバランスを意識した業務改善により子供と向き合う時間を確保する。
- ・コーディネーターや保護者等と連携して，子供の教育的ニーズを把握し支援を行う。
- ・職員で情報を共有し，協働により支援に当たる。

具体的な児童の姿

- 人の気持ちを考え，助け合い，認め合い，共に伸びようとする子
- 健康・安全に関心を持ち，進んで運動し，粘り強く取り組む子
- 自分の考えをよくまとめ，進ん

何を学ぶか

- ・基礎学力(漢字，計算，教科言語，語彙)を身に付ける。
- ・「わかった」「楽しい」と思える学び方を身に付ける。
- ・各教科で身に付けた力を活用する。



どのように学ぶか

- ・～おおさきスタンダード～ みのり 及び授業評価シートの活用した授業
- ・ユニバーサルデザインの視点に立った分かる授業
- ・教科間のつながりをふまえた活動
- ・家庭への情報提供

実施するために何が必要か

- ・「分かった」「楽しい」と児童が思う授業づくり
- ・先進校や諸機関の研修に積極的に参加し，その成果を共有する。
- ・主任を中心とした学校運営と積極的なOJTの推進を図る。
- ・関係機関との情報共有・連携
- ・小中連携事業の推進
- ・家庭・地域・学校支援ボランティアとの協働



安心・安全

- ・自分の命を守ることでできる知識や習慣を身に付けさせる。
- ・安全に行動できる能力や態度を育てる。
- ・多様な場面を想定した訓練の継続
- ・「さしすせそ」危機管理対応

開かれた学校づくり

- ・保護者アンケート，学校評議員による学校関係者評価の充実とそれを生かした学校づくりを行う。
- ・学校行事や学年での活動を外に開く機会を設定する。
- ・様々な情報手段を使って，情報発信の充実を図る。